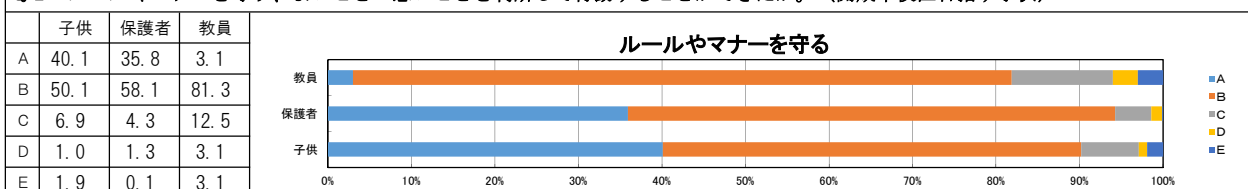


浜松市立葵が丘小学校 令和3年度子供・保護者・教員による学校評価

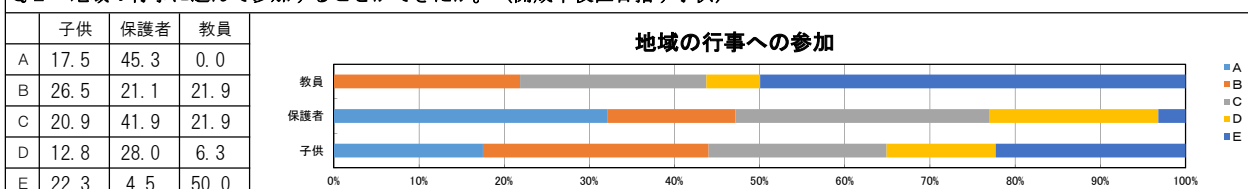
【凡例】 A：よくできている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない E：わからない

Q1 ルールやマナーを守り、よいこと・悪いことを判断して行動することができたか。(開成中学校区目指す子供)



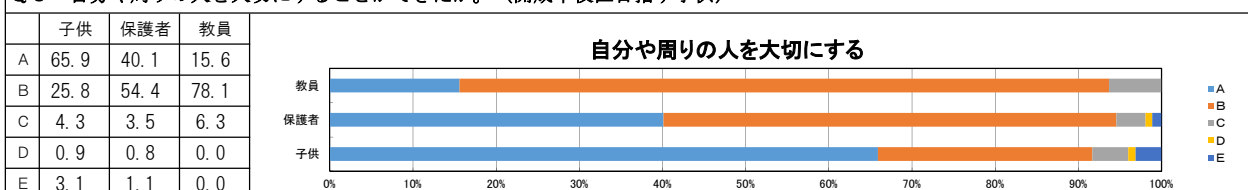
※子供、保護者の「よくできている」の割合は、昨年度より高くなっています。ルールを知ってはいても、実際に行動に移すことは難しいこともあります。「よいこと」をしたときは褒め、「悪いこと」をしたときには見逃さずにきちんと注意し、子供自身が正しく判断することができるように指導していきます。

Q2 地域の行事に進んで参加することができたか。(開成中学校区目指す子供)



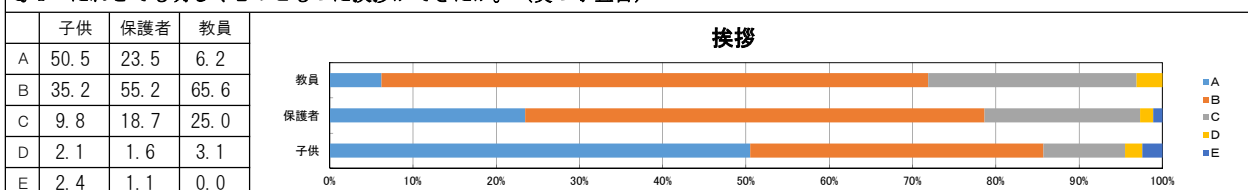
※今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事が中止になったり、実施の形態に変更があったりしました。今後、地域での行事が開催されるようになったら進んで参加できるよう、学校でも呼び掛けていきます。

Q3 自分や周りの人を大切にすることができたか。(開成中学校区目指す子供)



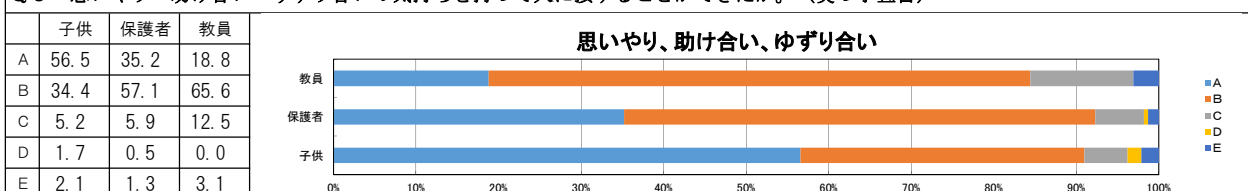
※子供、保護者、教員共に90%程度は「できている」という回答でした。周りの人はもちろん、自分自身のことも大切にできるよう、本校ではピア・サポート活動を通して、認め合い、支え合える気持ちを育てています。

Q4 だれとでも明るく心のこもった挨拶ができたか。(葵っ子宣言)



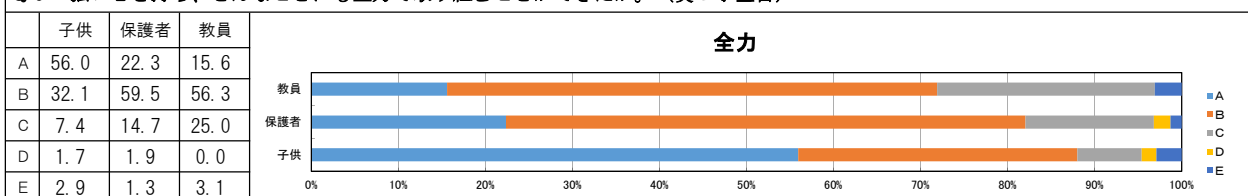
※毎年、保護者と教員が「できていない」と感じている割合が高くなっています。新型コロナウイルス感染症の予防のために常にマスクを着用していますが、声の大きさだけでなく、相手の目を見たり会釈をしたりして、心もこもった挨拶ができるように指導を続けていきます。

Q5 思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを持って人に接することができたか。(葵っ子宣言)



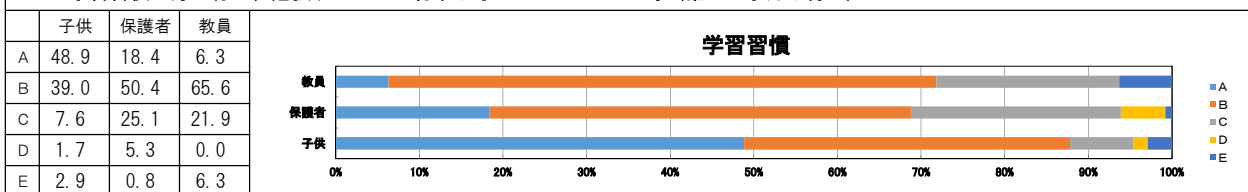
※子供、保護者が90%以上「できている」と回答しました。学校という小さな社会の中で、子供が個性を互いに認め合い、相手を尊重したり助け合ったりして生活しよう意識していることが分かります。これからも人と関わる活動を多く取り入れ、体験を通して思いやりの気持ちが育まれるような教育活動を続けていきます。

Q 6 強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組むことができたか。(葵っ子宣言)



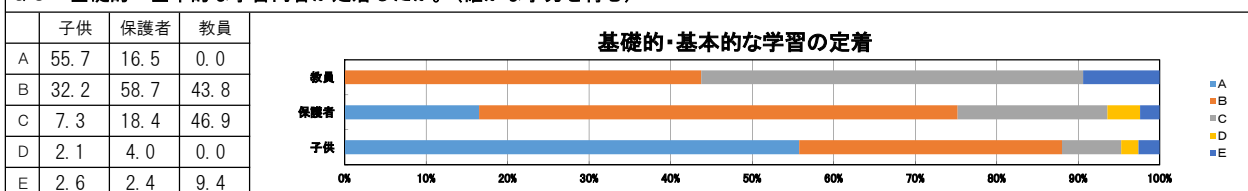
※今年度は、学年団での運動会や音楽会などの行事が開催されたこと、また、持久走記録会や高学年では30分間回泳など、運動面でも全力で取り組むことができたことが、子供たちの評価から伺えます。行事等への意欲的な取り組みと共に、学習面、生活面などでも、挑戦しあきらめない心を育んでいきます。

Q 7 学習習慣が身に付き、勉強するときの約束を守ることができたか。(確かな学力を育む)



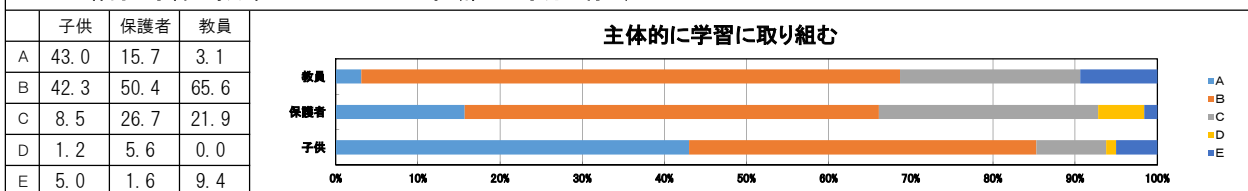
※学校と家庭とが連携し、家庭においても約束を守って学習にきちんと取り組めるように「家庭学習の手引き」や「家庭学習の内容」などについて検討し、よりよい学習習慣が身に付く手立てを考えていきます。

Q 8 基礎的・基本的な学習内容が定着したか。(確かな学力を育む)



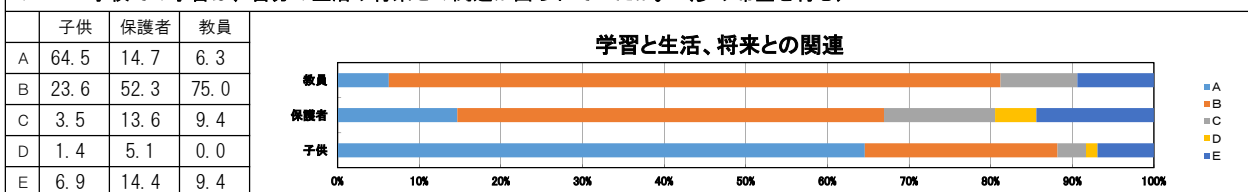
※子供たちへの質問は「授業の内容が理解できるか」でした。授業では、分かっているようですが、きちんと身に付いているかという視点で、保護者や教員の評価がやや低くなっていると推察されます。また、9パーセント以上の子供は内容が理解できていないようです。これらを真摯に受け止め、定着が図れる工夫、理解できる授業の工夫に取り組んでいきます。

Q 9 主体的に学習に取り組むことができたか。(確かな学力を育む)



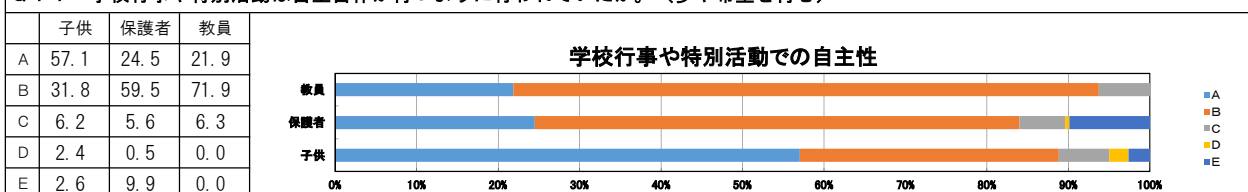
※子供たちへの質問は「自分なりに進んで工夫したりして学習に取り組んでいるか」でした。学習内容への興味・関心を高める工夫はもちろんです。また、「自分でやってみよう」「頑張ったらできるかもしれない」と感じ、主体的な取り組みができるような授業を考えていきます。

Q 10 学校での学習は、自分の生活や将来との関連が図られていたか。(夢や希望を育む)



※浜松市でも重点としているキャリア教育と関連させて、学習が生活や将来へ結びついていることを意識させながら授業を進めてきたところ、子供たちの85%以上が「できている」と答えました。これからも学習がいろいろな場面で生きていくような授業を心掛け、保護者にもそれらが伝わるように努めていきます。

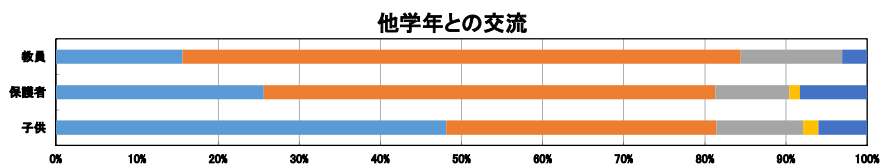
Q 11 学校行事や特別活動は自主自律が育つように行われていたか。(夢や希望を育む)



※昨年度の評価より、子供、保護者、教員共に評価が高くなっています。高学年の子供たちは学校行事や委員会活動で、4年生以下の子供たちは係の仕事などで、みんなのことを考えながら進んで活動を行っていました。自分たちで考え、自分たちでより良い学校や学級を作っていこうと思えるような活動をこれからも積極的に取り入れていきます。

Q 1 2 他学年の人と交流し、思いやりや助け合いの心が育ったか。（夢や希望を育む）

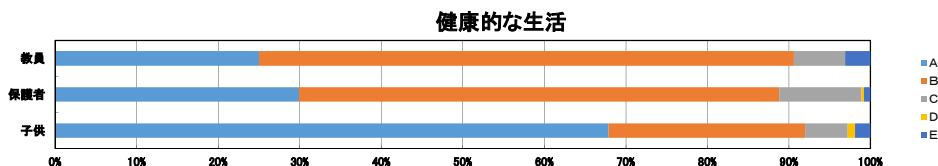
	子供	保護者	教員
A	48.1	25.6	15.6
B	33.3	55.7	68.8
C	10.7	9.1	12.5
D	1.9	1.3	0.0
E	6.0	8.3	3.1



※昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のために、異学年との交流活動を思うように設定できませんでした。他学年との交流を取り入れることは、思いやりや助け合いの心を育てることにつながります。状況が改善されたら、異学年交流は積極的に取り入れていきたいと考えています。

Q 1 3 健康的な生活ができるよう気をつけたか。（健康・安全を育む）

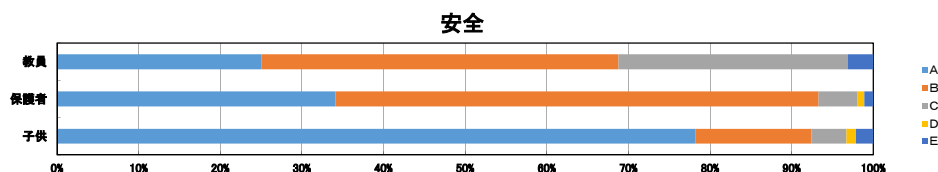
	子供	保護者	教員
A	67.8	29.9	25.0
B	24.1	58.9	65.6
C	5.2	10.1	6.3
D	0.9	0.3	0.0
E	1.9	0.8	3.1



※子供、保護者、教員共に80%以上が「できている」と回答しました。学校では、月1回の保健指導で、健康に過ごすための知識を伝えたり、体力作りのための取り組みを行ったりしています。また、コロナウイルス感染症対策のためのうがい手洗いなど、子供たち自身も気を付け生活していました。今後も、子供たちの健やか成長のために、家庭と学校で連携した取り組みを進めていきます。

Q 1 4 不審者や交通事故など、身の回りの危険に気を付けて生活したか。（健康・安全を育む）

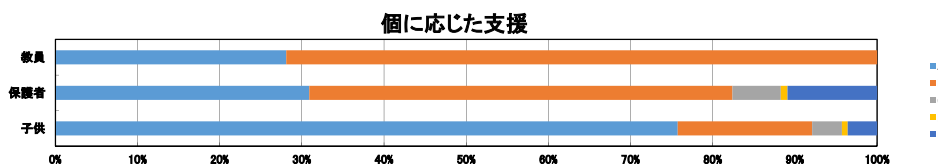
	子供	保護者	教員
A	78.3	34.1	25.0
B	14.2	59.2	43.8
C	4.3	4.8	28.1
D	1.2	0.8	0.0
E	2.1	1.1	3.1



※例年、1年生に防犯教室、全学年に交通教室を行っています。多くの子供たちは、安全に気を付け登下校できていますが、時折、危険な行為が見られます。校内での安全な廊下歩行についても課題です。安全な行動について、繰り返し指導していますが、家庭でも声掛けと見守りをよろしく願います。

Q 1 5 学校は、おさんを理解し、個に応じた支援をしていたか。

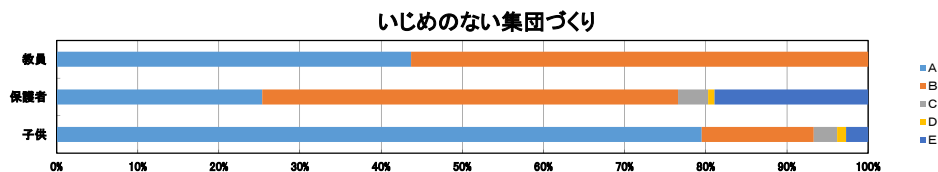
	子供	保護者	教員
A	75.8	30.9	28.1
B	16.4	51.5	71.9
C	3.6	5.9	0.0
D	0.7	0.8	0.0
E	3.6	10.9	0.0



※「できていない」という子供たちと保護者の思いを強く受け止め、一斉授業の中でも、個に応じた支援を心掛け、基礎学力の定着を目指していきます。そして「できている」と全員の子供たちが回答してくれるよう、教員は子供たちに寄り添い、魅力ある授業づくりを行っていききたいと思います。

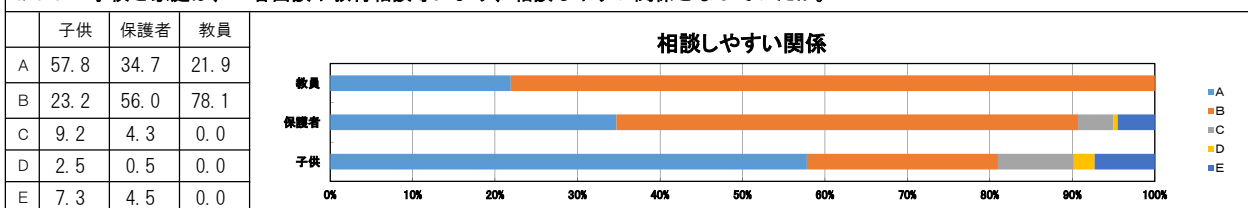
Q 1 6 学校は、いじめのない学校・学級・集団づくりに取り組んだか。

	子供	保護者	教員
A	79.5	25.3	43.7
B	13.8	51.2	56.3
C	2.9	3.7	0.0
D	1.1	0.8	0.0
E	2.7	18.9	0.0



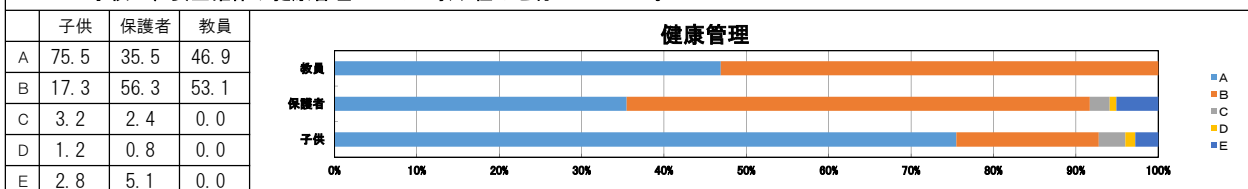
※子供、保護者の「できていない」との回答にきちんと向き合うことが大切と考えます。子供たちにとって学校や学級がどの子にとっても安心できる場所になるよう努めます。

Q17 学校と家庭は、三者面談や教育相談等により、相談しやすい関係となっていたか。



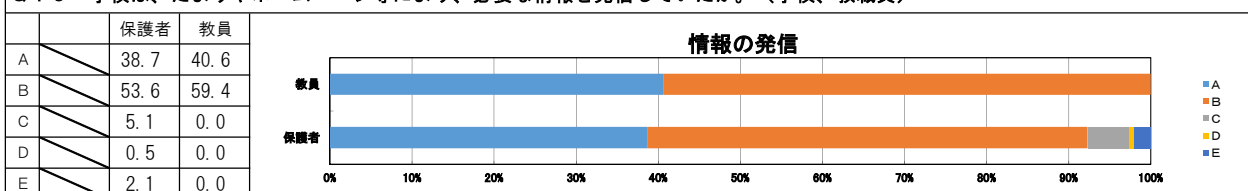
※90%以上の保護者が「できている」と捉えてきています。しかしながら、10%に近い子供が「できていない」と回答しました。葵が丘小教員全体で、気軽に相談しやすい雰囲気や環境を作り、いい関係作りを築けるようにし、開かれた学校を目指していきます。

Q18 学校は、安全確保や健康管理のための取り組みを行っていたか。



※子供、保護者、教員ともに90%以上が「できている」と回答しました。新型コロナウイルス感染症予防のための取り組みを含め、これからの子供の安全を第一に考えて安全確保と健康管理のための取り組みを実施していきます。

Q19 学校は、たよりやホームページ等により、必要な情報を発信していたか。（学校、教職員）



※学校では、定期的に学校だより・学年だより・保健だより・給食だより等を発行し、子供たちや保護者の皆様に情報発信しています。また、日々の様子が伝わるように、ブログの更新もしています。必要な情報は、メールや手紙で正確かつ迅速にお知らせできるようにします。

学校評価では、保護者の皆様からたくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。以下に保護者の皆様の意見を整理させていただきました。学校としての取り組みや考え方をまとめました。また、体罰アンケートにも御協力いただき、ありがとうございました。自治会役員の方、PTA役員の方の立ち合いのもと開封しました。体罰アンケートに記述していただいた御意見も、以下の中に入れていただきました。内容を全職員で確認し、改めて指導を振り返り、成果は今後の活動につなげ、課題は謙虚に反省してこれからの生かすようにしていきたいと思っております。

○学習面について

宿題の量については、多くしてほしい、もっと少なくしてほしいとどちらの意見もいただきました。家庭学習は、家庭での学習習慣を身に付けることや基礎基本の定着を図ることを目的としています。時間を有効に使い、自分の課題に向かうことができるようになるには、御家庭の御協力が不可欠です。声掛けや見届けの御支援をお願いいたします。授業については、子供たちが主体的に取り組めるような授業ができるよう考えてきました。今後も、「やってみたい。どうやったらできるかな。」と感じられる子を育てるとともに、個に合った丁寧な指導を心掛けていきます。

○児童の様子について

友達とのかかわり方、言葉遣いについて御指摘をいただきました。子供たちは、現在、学校という社会で、集団生活を学んでいます。「葵っ子宣言」にもあるように「思いやり」の心を育み、温かな心が子供たちの言動に現れるよう、指導・支援していきます。その1つとして、葵が丘小学校では、ピア・サポートを通して、人とのコミュニケーションの仕方について学んでいます。また、問題が起きたときには、学年、学校体制で解決を図っています。お気付きの点があればお聞かせください。今後も、事後のケアが今まで以上にできるよう、継続的な働き掛けを心掛けていきます。これからも葵が丘小学校児童全員が安心して通える学校作りを目指します。

○コロナ感染症対策について

学校では、マスクの着用、登校後の手洗いうがいを呼び掛けています。また、教室の換気、授業後の手洗い、給食は黙食、また、下校後には、教室や廊下の子供たちがよく触る場所の消毒を行っています。感染症に対する予防対策を取りながら、子供たちが安全に、充実した学校生活を送ることができるように考えていきますので、御協力をお願いいたします。また、クロムブックによる、御家庭での接続確認をありがとうございました。子供たちの学びを止めることがないよう、ICT機器の活用についても進めています。

○行事について

本年度は、春に学年団での運動会開催、密を避けた参観会の実施をしてきました。修学旅行は、9月の緊急事態宣言終了後の10月に実施することができ、6年生は、よい思い出ができたことと思います。林間学校や音楽会、持久走記録会などは、形を変えながら、実施をしましたが、保護者の方に学校での子供たちの様子を目の前で見ていただく機会としては、少なくなりました。行事を行うに当たり、新型コロナウイルス感染症対策の行動指針に基づきながらも、子供たちが安全に充実した活動ができるよう計画を立てています。保護者の皆様にも、その様子を見ていただけるよう、今後も、今できる最善の方法を工夫しながら、計画していきます。子供たちは、御家族の皆さんの応援が何よりの励みになっています。これからも励ましの声掛けをお願いいたします。

○教職員について

児童への接し方や対応の仕方、言葉遣いなどについて御意見をいただきました。教職員一人一人が謙虚な気持ちで、自分自身を振り返り、これからは「ていねい」「あったか」「あんしん」を意識しながら子供たちと接し、信頼される学校づくりに努めていきたいと思っております。

○情報の発信について

必要な情報は正確に、迅速にメールや手紙でお知らせするようにしています。今年度は、さくら連絡網での便りの配信も行いました。添付ファイルの閲覧期限については、御迷惑をお掛けしました。添付ファイルについては、年度末まで閲覧できるようにしました。便りの発信については、都度、最適な手段で情報をお伝えしていくようにいたします。日々の学校の様子はブログでお知らせしていますので、ぜひ御覧ください。

